

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



人口減少に歯止めをかけ、にぎわいを取り戻す対策を

ほんだしげのぶ
本多重信が問う

人口減への町の対策は

Q 当町は人口3万8000人を超えたこともあったが、今年4月、3万人を割り込んだ。人口減を懸念する町民の声を把握は。

A 政策推進課長 地区別懇談会やアンケートなど実施したところ、将来不安や地域コミュニティの持続可能性など人口減問題を含め、さまざまな声をいただきました。これらは総合戦略会議へフィードバックし、人口減や少子高齢化対策に取り組みます。若者世代の呼び込みや定住促進も図ります。

デマンドタクシーの充実を

Q 「来るまでに時間がかかる」「料金が安い」等の声も多く、通院や買い物のための町外利用や高齢者を交通事故の加害者・被害者にさせないためにもデマンドタクシーの充実をいかに図るか。

A 都市政策課長 利用者の意見は随時把握し、公共交通活性化協議会等へ報告しています。アンケート調査結果も今後まとめます。「利用しやすい制度に」は協議していきます。町外利用は現時点では考えていません。高齢者による交通事故を減少させるため、免許返納を促すことは大切です。今後もデマンドタクシーの利用促進を行いつつ、注意喚起や啓発をしていきます。



小川町に元気にぎわいを！（駅前通り）



指定避難所には、太陽光パネルと蓄電池は必要だね

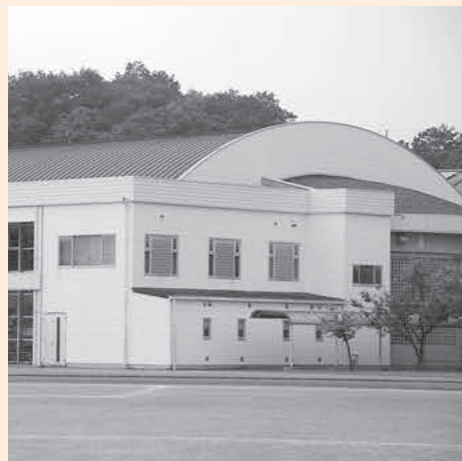
いぐちりょういち
井口亮一が問う

国の補助が87% 今すぐ活用を

Q 自然災害が多発する中、政府は指定避難所などに太陽光パネルや蓄電池を設置する費用の87%を補助する事業を推進している。町には、この事業の対象となる施設はどのくらいあるか。

A 防災地域支援課長 小中学校の体育館をはじめ14施設で、西中学校は対応済みです。

AQ この補助事業を活用したい施設はどこで、準備は進んでいるのか。
Q 防災地域支援課長 初期費用の負担が13%と少ないので、14施設全てに



太陽光発電設備と蓄電池の設置が期待されるみどりが丘小学校体育館。

設置したいと考えていますが、関連の改修工事が町負担であることや、維持管理費用も見込まれることから、事業実施は慎重に判断すべきものと考えています。
AQ 小中学校のエアコン設置事業が急速に進み100%になった理由は何か。
A 防災地域支援課長 異常気象とも言える夏の厳しい暑さと国からの補助制度の充実により、町の負担が軽減したことによるものと考えています。

Q 災害時における避難所の電源確保が極めて少ないなど類似したこのケース。活用ができない原因はどこにあるのか。
A 防災地域支援課長 現段階では、具体的な整備を実施していくところまで至っていません。



課題先進地として想定外のない模擬対策をしている

とくち まさる
戸口 勝が問う

高齢者を取りまく課題の解決を

Q 団塊の世代が後期高齢者となる令和7年に、当町の高齢化率は45%となる。特殊詐欺防止への強化策は。

A 防災地域支援課長 現在、民生委員により注意喚起のチラシ配布や警察との協力により、11回の講習会を実施しました。今後、個人・寄り合いの場・地域等に周知していくことで、さらなる予防策となります。

Q 「こみ出し」が困難な住民が増加する予測であるが、その対策は。

A 環境農林課長 地域コミュニティの中での助け合いが最善で、そのような社会の実現が望ましいです。不自由なくごみ出しができる体制も検討していますが、対象者の特定が大きな課題となっています。先進地を例に研究します。

町の資源を活かした施策展開を

Q 空き家を活用した「借り暮らし体験」を計画してはどうか。また、賃貸戸建て住宅を増やし、移住希望者へのハードルを下げる努力をするべきではないか。

A 政策推進課長 移住につながる取り組みとして民泊事業者と連携が取れるか検討します。また、移住・定住につながるよう空き家所有者へ周知をしていきます。



ひとりでのごみ出しに苦労する高齢者。



安心、おいしい。
有機農業の町小川。

(O・Kさん・28歳)



小京都と車社会と里山のミラクルな街。

(T・Sさん・68歳)



水よし、酒よし、人もよし。
自然があふれるまち。

(K・Yさん・59歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「あなたが考える町の
キャッチコピーは」